

第^{スクリ}二^{スクリ}桅帆船^{スノウ}「^{スノウ}グロップ」一隻
乗組船長 英人「^{スノウ}グロッド・ハースト」

同 國 「アレシ」

同 「スノウ」

同 「ベーカー」

日名人格人 内多々水ま
四人中

右之由形を英人「ベーカー」ヨリ申あはる

シタカハシ

單冠灣ノ儀ニ付上申

當使管下千竄國海邊漁業取締
為橋孰丸革而軍艦派遣ニ付實地視
察シテ去月申奉武光山航ノ處擇定
竄ノ内振別郡ノ東部ヒトカツブ山ノ近
傍ニ於テ良好ナル海湾有之趣届出候
ニ付自今碇泊ノ者稱呼便宜ノ為單
冠灣ト相定候條此段申仕置候
也

明治七年六月五日

副次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

但及内布達ノ案ハ其ノ旨ニ依リ

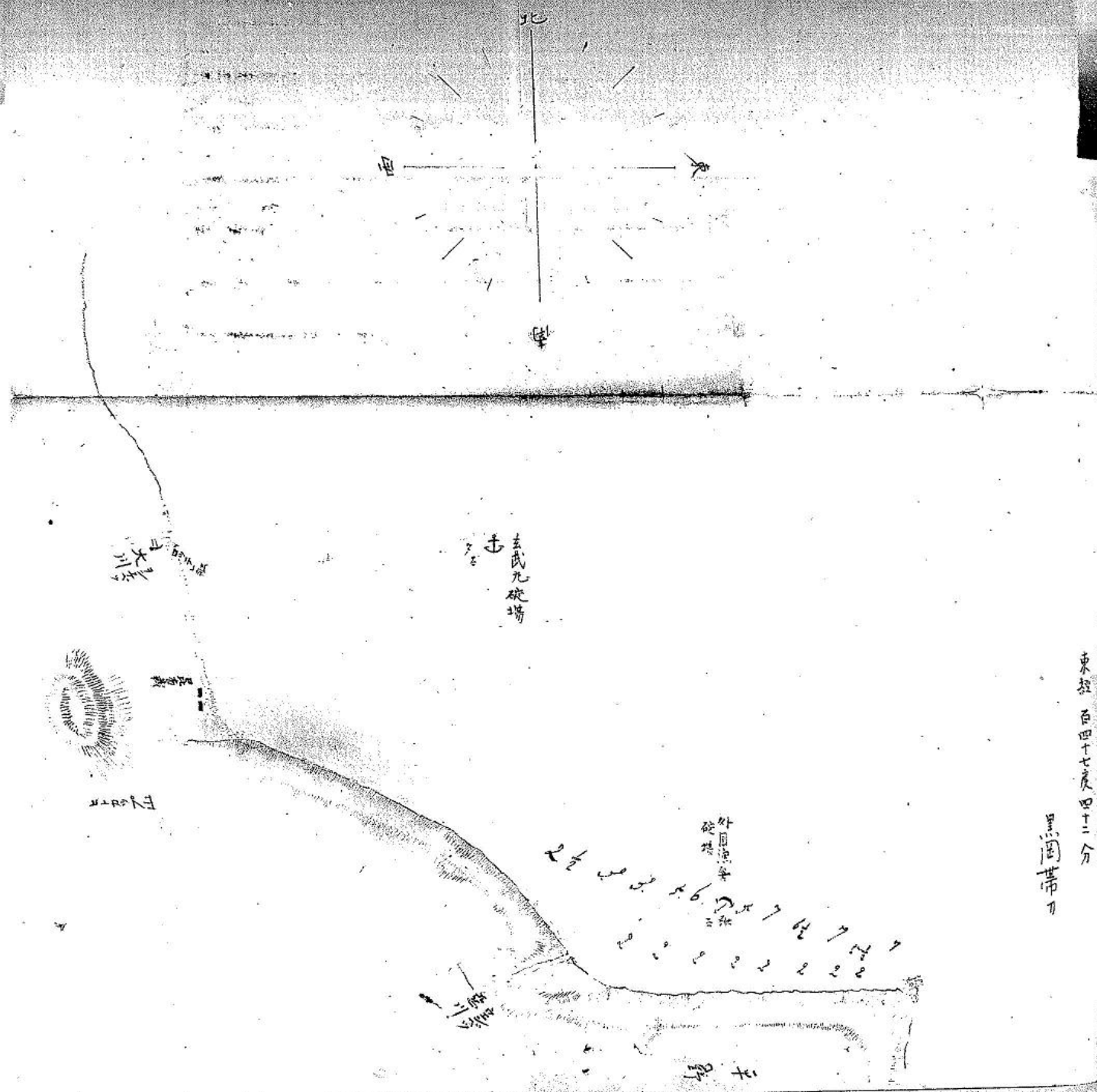
管内一般ニ布達スル

ル

東經 百四十七度 四十二分

黒田清隆

玄武丸 碇場



營四一般三市夢
 九子

東經 百四十七度四十二分

黑岡帶刀

乙亥抄卷九

音便古字出仕任為基於愧
古動トシラ略冒出為仕任係以
商之上

明治七年六月五日

開拓使官黒田清隆

太政大臣三條實美殿